

全体構想に掲げる目標数値・参考数値について

五木地域の林業の成長産業化を実現するために、全体構想で示された各課題の解決に向けた取組が適切に進んだ場合の協定締結約10年後(平成32年度)および約20年後(平成42年度)の状態を目標数値及び参考数値として設定

素材生産量に関する目標数値

<算出方法(概要)>

- ① 協定に基づくこれまでの取組に加えて、全体構想に基づく取組が今後適切に行われ、森林共同施業団地で生産される素材の量が着実に増加すると見込み。
- ② 具体的には、協定締結以降の素材生産量(実績)から、回帰式のモデルを設定し、当面は生産量が増加するものとして試算。

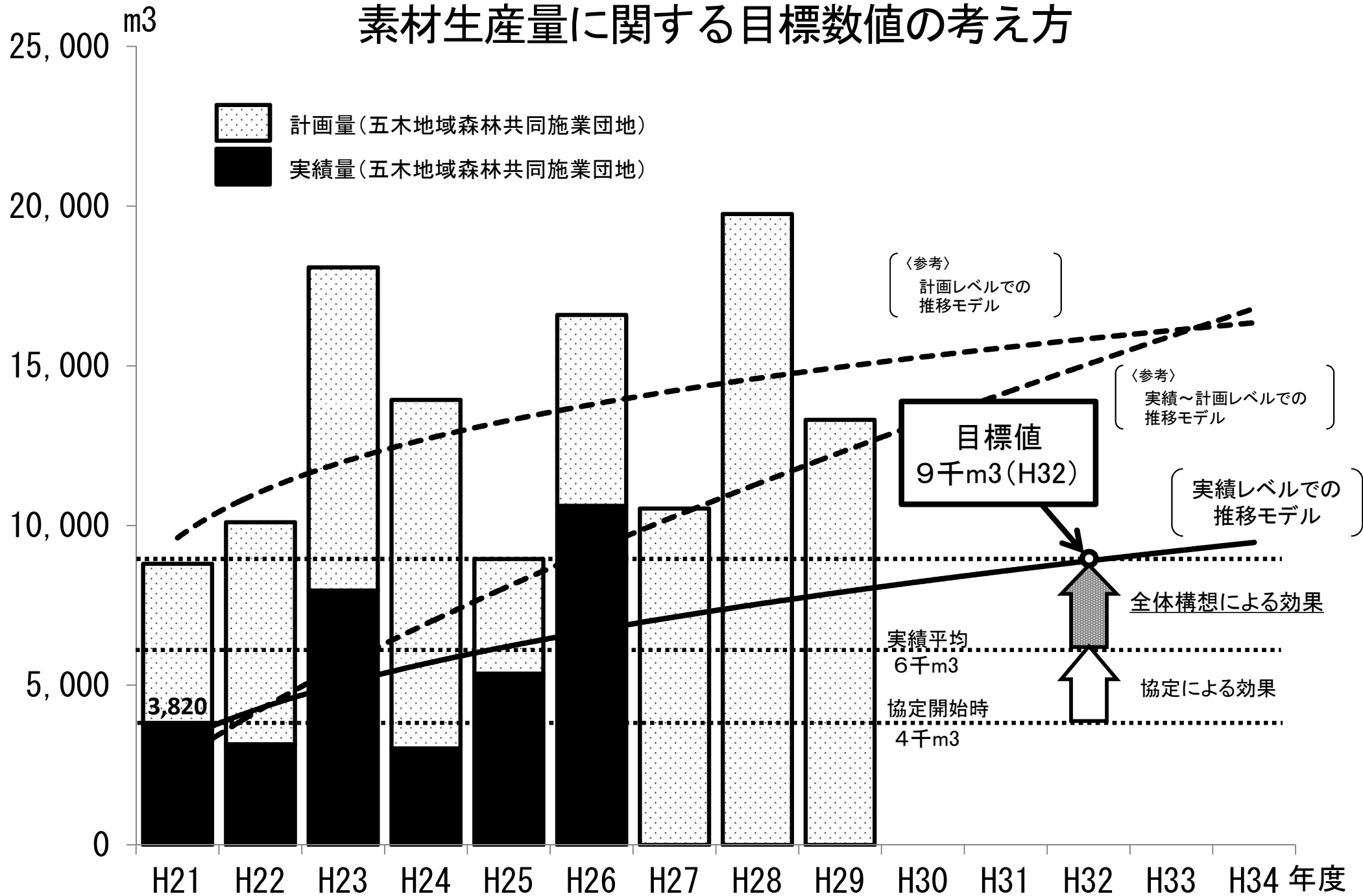
林業総生産額に関する参考数値

<算出方法(概要)>

- ① 協定(全体構想を含む)に基づく取組により、五木村内の森林共同施業団地(3千ha程度)での森林整備が加速。こうした取組の波及効果により、五木村内で同様に展開されると見込み。
- ② 具体的には、協定締結以降の五木村の林業総生産額を回帰式モデルにより試算。これに新たに取組を展開する森林*を加味して、総生産額についても同程度増加するものとして試算。

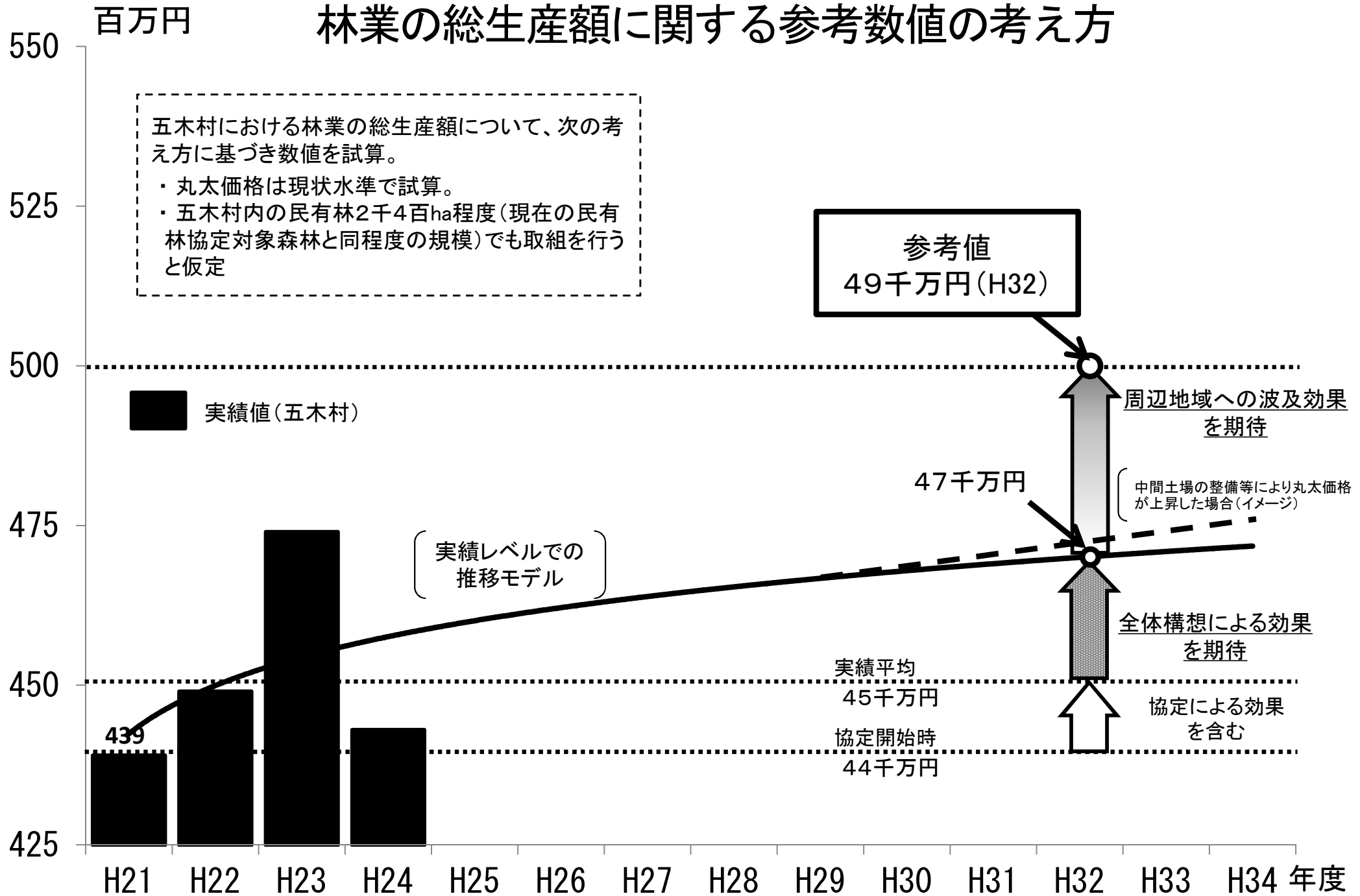
* 五木村内の民有林2千4百ha程度(現在の民有林協定対象森林と同程度の規模)で新たに取組むと仮定

素材生産量に関する目標数値の考え方



資料: 素材生産量の計画面積・実績量については、協定書、運営会議の資料等をもとに作成

林業の総生産額に関する参考数値の考え方



資料: 総生産の実績値については、市町村民所得推計報告書より五木村分を抽出